

130219 雨水

昨日の2月18日は、二十四節気の「雨水」(うすい)でした。

降る雪が雨へと変わり、積もった雪や氷も溶けて流れ出す季節を迎えました。

昔からこの季節は、農作業の準備をはじめ「目安」とされていたそうです。

そして「雨水」の言葉どおり、この日は金剛山頂でも一日中雨^{あめ}が降り、積もっていた雪もかなり洗い流されたようです。

さて...

日一日と長くなる陽の光が大地を少しずつ暖め、いよいよ「春の兆し」も「春の気配」へと移りゆく....

そのような写真を撮りたいと思って、まだ雪の残る南河内の山へと出かけてみました。

そこには、果たして、小さな命の芽^{つぼみ}が顔をのぞかせていたのです！！













